

通俗中根式速記法

が甚だ困難であつたとゆうことこれである。従來の他の諸速記法が、過去四十餘年の久しきにわたつて、國家社會の進運に貢獻したることは、もとより、極めて甚大にして、わが國民は永くその功績を記憶すべきではあるが、惜しいかな、その熟達には多大の年月を費し、多大の脳力を要し、よほぎの天才的特殊な努力家でなければ、とうてい、その目的を達することが出来なかつたのである。したがつて、その普及とゆう點については非常なる困難を伴い、廣く一般民衆の活用に適せなかつたのはもちろん、速記専門の技術者のごときですら、今なお、全國にりようりようたる有様なのである。

かくの如くして、わが國のごとき煩雜なる漢字を使用して居る國にあつては、一日も早く、速記文字を活用して以てその短を補うとゆう意味からしても、わが國速記界は異常の發達を來して居なければならぬのであるのに、うらむべし、事實のこれに反すること前述のごとく、眞に中心から遺憾禁ずる能わないのである。「世界の文字をして速記文字化せしめよ！」とは常に私の心中に燃えて居る熱望であるが、もとより、速記文字化の大理想が文字界今日の狀態においては、とうてい、短時日に實現せられる望みのないことは百も承知はして居るのである。しかしながら、古來、文字進化の大勢を觀じ、速記文字の眞意義を思いつむ